

## 6 - 1 中国東部・近畿北部・北陸地域における地震活動 (1986年1月～1986年6月)

Seismicity in the Eastern Chugoku, Northern Kinki and Hokuriku Districts,  
Southwest Japan (January, 1986 - June, 1986)

京都大学防災研究所 鳥取微小地震観測所

北陸微小地震観測所

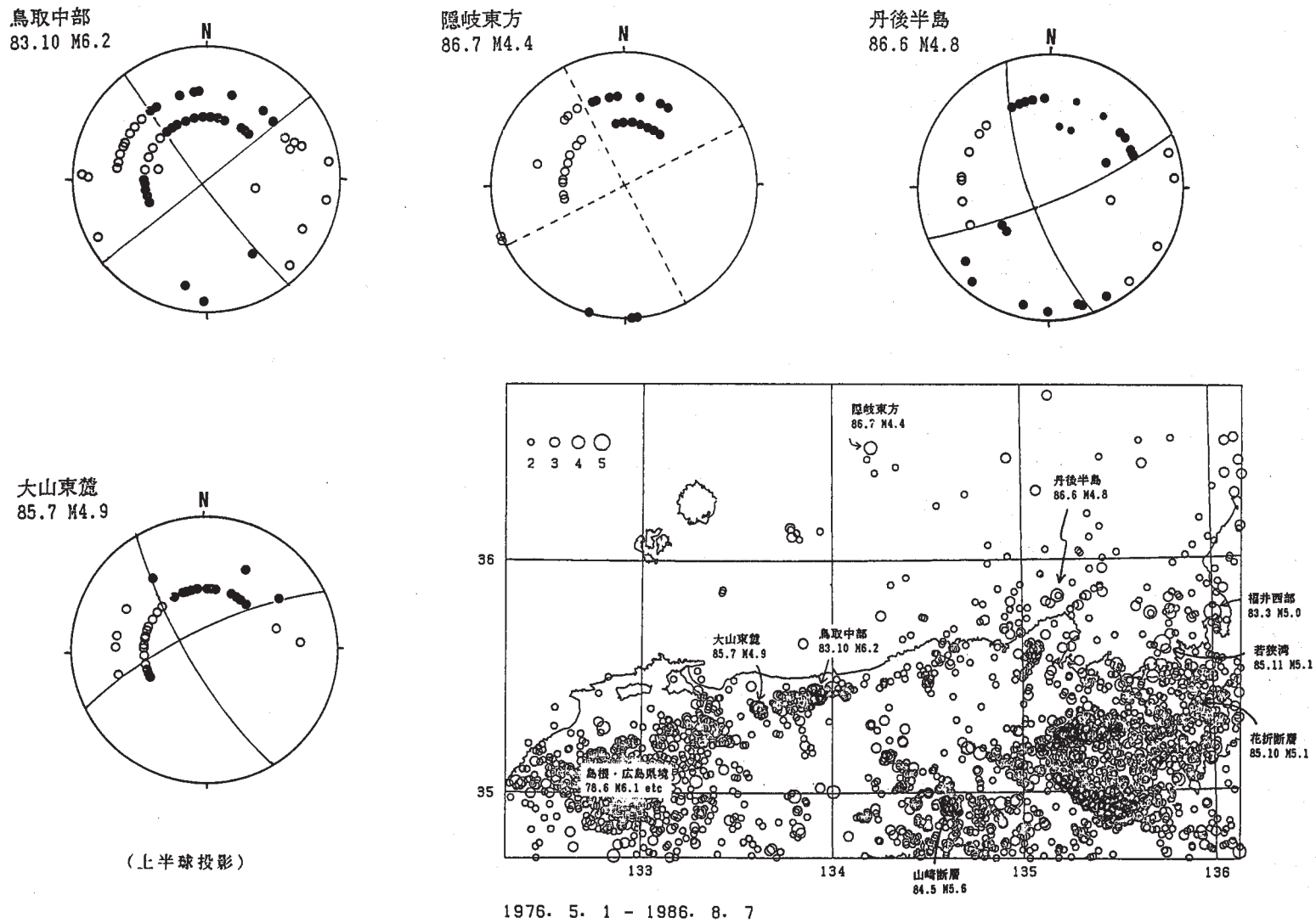
京都大学理学部 阿武山地震観測所

Tottori Microearthquake Observatory and Hokuriku Microearthquake  
Observatory, Disaster Prevention Research Institute  
Abuyama Seismological Observatory, Faculty of Science  
Kyoto University

鳥取微小地震観測網（第1図）、阿武山地震観測網（第2図）、及び北陸微小地震観測網（第3図）による観測結果によれば、いずれの地域でも、この期間の地震活動は目立って低調であった。

目ぼしい地震としては、丹後半島先端付近の M4.8 (A)、石川県医王山の地震活動（最大 M3.9、北陸観測網での観測総数 34 個、B）位である。

なお、1985年10月の花折峠の地震（M5.1）の余震活動は、次第に弱まりつつ、この期間も継続している（第2図、BHO 観測点近くの塊まり）。



第1図 山陰地域における最近の地震活動と主な地震の発震機構

Fig. 1 Recent seismic activity in the San'in District and fault-plane solutions of some larger earthquakes.